

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10588002				
授業名	世界動向と国際貢献 B	形態	講義	単位	2
担当教員	松尾 加奈、郷堀 ヨゼフ				
開講学期	2019年度 後学期	曜日・時限	水曜3限		
授業目的	本授業では、「私」の世界は「個」の世界だけではなく国境を超えて様々な関係性が紡がれている中で成り立っていることを出発点とする。いま我々の住む世界が抱える様々な課題（戦争・テロ、貧困、環境問題、保健衛生など）について、世界各地の事例を取り上げ学習者がその背景や原因・解決策について「共生」を土台に考えることを目的とする。				
授業内容	本授業では「保健衛生」「平和・紛争・戦争」「環境・開発」の3つのテーマについて、新聞記事・ルポ・映像・ドキュメンタリー映画などの資料を用いながら、各国の取り組み、国境を超えた取り組みを生活者の目線で取り上げる。各授業において学習者自身の視点でそれぞれの問題・課題の背景や原因、解決策について考え、グループによるディスカッション、プレゼンテーションを通して議論し、理解を深めていく。				
到達目標	今日の世界が抱えている諸問題を知り、その原因や関連する事柄について基礎的な知識を得た上で、これらに対して学習者自身の考え方をまとめて他者と共有できること、また、取り上げられる諸課題と学習者自身との関係・日本との関係について考察し、国を超えての「共生」について考えるようになることを到達目標とする。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	3つのテーマをブロック化する。各ブロックでは、授業テーマ（世界各国が抱える課題）の説明、問題提起及び資料提示を講義形式で進める。参加者は講義を受けて、各テーマに沿って解決策・方法をアクティブ・ラーニングの手法を用い検討、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッションを実施する。ディスカッションはディベート形式を応用しながら、指定された2つの評価グループが相反する意見を提案、学習者全員はディスカッションに参加する。学習者たちが考えた解決策については、実際世界各国で活動している実践者たちにコメント・評価を依頼する。				
事前・事後学習の所要時間	講義時間30時間（2時間×1コマ×15週）＋事前事後60時間（第1～15回目授業までの総合計）				
テキスト	教科書や特定のテキストを指定しない。参考資料、そのほかの資料は適宜提示する。毎回、レジュメを配布しパワーポイントなどの資料を提示する。学習者は授業内容をノートとしてまとめ、授業で紹介された参考文献やその他の学習資料を読み、理解を深めていく学習を目指す。 授業内容に関連する自閉に基礎的なテキストとして下記のことを提示する。 ・下村恭民、他『新版国際協力：その新しい潮流』有斐閣 ・藤原帰一、他『平和構築・入門』有斐閣 ・佐原隆幸、他『国際協力 アクティブ・ラーニング』弘文堂 ・黒崎卓、他『ストーリーで学ぶ開発経済学 途上国の暮らしを考える』有斐閣				
評価方法	本授業の評価は下記の3つの観点から行う。 ・授業への参加態度（挙手による発言、グループワークなどにおける態度） ・プレゼンテーション準備と発表への協力・貢献・態度 ・ディベート及びディスカッションへの参加 ・リアクションペーパー及び終講レポートの内容、質				
評価基準	学習者が世界の抱える課題を身近に考え、また斬新かつ具体的な解決策を検討することを期待する。小レポート(30点)、プレゼンテーション（30点：各ブロックにおけるプレゼンテーション準備と発表に関してグループへの協力・貢献度(15点)、プレゼンテーション担当以外のグループについても評価グループやディベートへの参加（15点））、期末（終講）レポートの内容（40点）について到達目標と照合し評価する。				
試験・レポート等のフィードバック	小レポートのフィードバックは授業内で行う。学習者の意見・指摘・気づきを取り上げ、授業内で議論する。各レポートにコメント等を添えてフィードバックする。レポートのみならず、授業内容・授業遠泳に関する相談時間を設け、対応する。				
注意事項及び履修条件	本授業では相手の意見を尊重し、誰もが議論に参加できる環境・雰囲気を保ちながら展開していく。そのため、グループワークやディベート、ディスカッションの際の相手や、他地域・外国・異文化などの「他者」を軽視しないこと、排他的・差別的な発言をしないこと、それぞれの文化の優劣を論じないことを授業の約束事とする。				
S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満					

第1回	
事前学習	シラバスを読み、授業内容や成績評価の方法などを確認、興味のあるテーマについて文献レビューする。（1時間）
授業内容	担当：郷堀・松尾 授業のガイダンス ①授業目標と授業内容の確認 ②成績評価の方法の確認 ③受講にあたっての注意事項の伝達

事後学習	授業内で提示された用語の中で、意味や内容がわからなかったものをテキストやWEBで調べて自分の考えをまとめる。(2時間)
参考文献	

第2回	
事前学習	新聞やニュースサイトで国際に関する記事を読み、自分の興味のある問題・課題について調べておく。(2時間)
授業内容	担当：郷堀 世界が抱える困難な問題とはなんだろう？
事後学習	授業で提示・紹介された課題の中で、気になったものについてさらに調べて自分の考えをまとめる。(2時間)
参考文献	

第3回	
事前学習	自分が興味関心を持つ国、行ったことや行きたいと思う国について、人口・民族・宗教・産業・生活・最新のニュースなどの情報を集め、興味を持つに至る理由をまとめる。(2時間)
授業内容	担当：松尾 「世界地図」について考える。国際関係を自分の視点・他者の視点から捉え直し、自己-他者の関係を考える。
事後学習	様々な世界地図を見て、日本と世界の関係について自分の考えをまとめる。(2時間)
参考文献	

第4回	
事前学習	保健衛生をテーマにJICA、WHOなどのホームページや資料、統計や報告書を読み、課題と背景について調べておく。(2時間)
授業内容	担当:松尾 グローバル・イシュー①「保健衛生」 保健衛生をテーマに国境を超えて解決すべき課題と、様々な国際機関の活動、それぞれの国の事情、歴史、特にHIV/AIDSや健康問題に取り組む国際貢献の現状を学ぶ。
事後学習	取り上げられた課題から保健衛生の国際協力の傾向を調べ、自分の考えをまとめる。(2時間)
参考文献	

第5回	
事前学習	保健衛生の領域の国際援助機関についてWEBや資料で学ぶ。取り組むべき課題を一つ挙げJICA、国連機関等の活動例を調べ、支援の方法とゴールの案を作る。(2時間)
授業内容	担当：郷堀・松尾 プレゼンターによる発表、評価グループによるディベート、フロアのディスカッション
事後学習	授業を振り返り、取り組むべき課題・対応策について文献調査(2時間)
参考文献	

第6回	
事前学習	前回授業を振り返り、具体的な解決策について考えをまとめる(1時間)
授業内容	担当：松尾 プレゼンターによる課題解決方策の最終提案、専門家からのフィードバック、グループでのシェアリング実施。
事後学習	小レポートの作成(4時間)
参考文献	

第7回	
事前学習	戦争と平和をテーマに国連や国際NGOの活動をホームページや各種資料、報告書を読む。紛争・戦争地域の歴史的背景や平和構築に向けた課題について調べておく。(2時間)
授業内容	担当：郷堀 グローバル・イシュー②「平和・紛争・戦争」 戦争・テロ・平和をテーマに、国境を超えて解決すべき課題、様々な国際機関の活動、それぞれの地域の事情や歴史的背景について学ぶ。
事後学習	取り上げられた課題から平和構築に向けた国際協力の現状と課題について調べ、自分の考えをまとめる。(2時間)
参考文献	

第8回	
事前学習	取り組むべき課題を一つ挙げ、国連機関や国際NGOの活動例を調べ支援の方法とゴールの案を作る。(1時間)
授業内容	担当：郷堀・松尾 プレゼンターによる発表、評価グループによるディベート、フロアのディスカッション
事後学習	授業を振り返り、取り組むべき課題・対応策について文献調査(3時間)
参考文献	

第9回	
事前学習	前回授業を振り返り、具体的な解決策について考えをまとめる（1時間）
授業内容	担当：郷堀 プレゼンターによる課題解決策の最終提案、専門家からのフィードバック、グループでのシェアリング実施。
事後学習	小レポートの作成（4時間）
参考文献	

第10回	
事前学習	紛争地域での様々な国際援助機関の活動についてWEBや資料で学ぶ。（2時間）
授業内容	担当：郷堀 戦争・紛争解決は可能か：テーマのレビュー、質疑応答、小レポートを踏まえたディスカッション
事後学習	ブロック全体を振り返り、「宗教・平和・紛争」のキーワードで文献レビュー（2時間）
参考文献	

第11回	
事前学習	「持続可能な開発」について国連SDGsのWEBで情報を収集する。（2時間）
授業内容	担当：松尾 グローバル・イシュー③「環境と開発」 環境保護と開発をテーマに、国境を超えて解決すべき課題と途上国と先進国の事情や歴史的背景について学び、「持続可能な開発」とは何かを学ぶ。
事後学習	取り上げられた課題から環境に配慮した開発に向けた課題と国際協力について調べ、自分の考えをまとめる。（2時間）
参考文献	

第12回	
事前学習	開発援助の功罪について文献レビューする（2時間）
授業内容	担当：郷堀・松尾 プレゼンターによる発表、評価グループによるディベート、フロアのディスカッション
事後学習	プレゼンテーションを振り返り、学習者の考えをまとめる。（2時間）
参考文献	

第13回	
事前学習	前回授業を振り返り、具体的な解決策について自分の考えをまとめる（1時間）
授業内容	担当：松尾 プレゼンターによる課題解決策の最終提案、専門家からのフィードバック、グループでのシェアリング実施。
事後学習	小レポートの作成（4時間）
参考文献	

第14回	
事前学習	「保健衛生・貧困・環境・開発」をキーワードに文献をレビューする（2時間）
授業内容	担当：松尾 開発援助のゴールはどこにあるのか：テーマのレビュー、質疑応答、小レポートを踏まえたディスカッション
事後学習	SDGsと国際協力について調べ、自分の考えをまとめる。（2時間）
参考文献	

第15回	
事前学習	各授業で使用した資料を補完する文献レビュー（1時間）
授業内容	担当：郷堀・松尾 世界の動向と国際貢献の将来像：授業を振り返りグローバルイシューについて「共生」の視点で議論する
事後学習	各回の授業内容を振り返って国際貢献、国際関係について再考し、「共生」について考える。定められた提出期限までに終講レポートとして提出する。（4時間）
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p><DP1-(1)> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p><DP1-(2)> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p>
-----------	--

<DP1- (3) >

問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。

<DP1- (4) >

人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。